作成日　　：２００８年１２月１０日
最終改訂日；２０１４年０３月２０日

安全データシート

１．化学品及び会社情報

化学品の名称：リチウムビス(フルオロスルホニル)イミド
会社名：キシダ化学株式会社
住　　所：徳島県阿波市土成町土成字殿開８２－４
担当部門：徳島工場
電話番号：(０８８)６９５-５０５２　　ＦＡＸ番号：(０８８)６９５-５０５４
電子メールアドレス：tokushima@kishida.co.jp

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

自然発火性固体	区分外
酸化性固体	区分外
急性毒性（経口）	区分３
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分１
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分１
生殖毒性	区分１
水生環境有害性（急性有害性）	区分３

ＧＨＳラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語：危険
危険有害性情報：飲み込むと有毒
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
水生生物に有害
注意書き：安全対策　使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手や顔を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。

応急措置　飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
暴露又は暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

保管（貯蔵）施錠して保管すること。

廃棄　内容物／容器を産業廃棄物処理免許を持つ処理業者に委託して廃棄すること。

特有の危険有害性：粉じんは爆発性混合物を生成するおそれがある。
粉じんは静電気を帯電するおそれがある。
本品は研究開発段階の物質であり、危険有害性に関する知見が得られていないので取扱いに際しては充分に注意すること。
分解時、有毒ガス（Noｘ、Soｘ、HF）を発生する恐れがある。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：単一の化学物質

化学名又は一般名	含有率 wt.%	CAS 番号	化審法	安衛法		化管法	毒劇法
			官報公示整理番号	官報公示整理番号	通知対象物	指定物質	毒物劇物
リチウムビス(フルオロスルホニル)イミド	99	171611-11-3	1-1247	1-(3)-386	通知対象物-別表番号：487	非該当	非該当

４．応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。

目に入った場合：清浄な水で少なくとも数分間（望ましくは１５分以上）洗眼（可能であればコン

タクトレンズを外して）した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼のすみずみまで水がよく行きわたるように洗うこと。

飲み込んだ場合：医師の指示がない限り、吐かせてはならない。意識のない人に口からものを与えてはならない。直ちに医師の手当てを受けること。

５．火災時の措置

消火剤：粉末消火薬剤、水溶性液体用泡(耐アルコール泡)消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

使ってはならない消火剤：知見なし

特有の危険有害性：火災時には有毒ガスが発生するおそれがある。

特有の消火方法：火災の風上に立つこと。防火服および空気呼吸器等の装備を着用すること。放水により収納設備を冷却すること。

適当な距離から注意して消火すること。

消火を行う者の保護（保護具等）：消火作業では、適切な保護具を着用すること。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

付近の着火源となるものは、速やかに取り除くこと。

８章で推奨する保護具を着用すること。汚染領域から退避させ、必要な場合以外および保護具を着用していない人員の立ち入りを防止すること。

環境に対する注意事項

下水または水路への漏出をさせないこと。

帯電防止シート等で覆い、飛散、拡大を防止すること。

回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材

漏出物は慎重に掬い取るかふきとって容器に回収すること。粉じんを生じさせないこと。

着火源を取り除くこと。防爆型の機器を使用すること。粉じんは火災爆発を引き起こす可能性ある。真空掃除するか拭き取り廃棄容器に回収すること。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取り扱い時には、必ず適切な保護具（第８章参照)を着用すること。

粉じんを吸入しないこと。

粉じんは静電気を帯電する恐れがある。粉じんの発生、堆積を最小限に抑える。静電気除去の対策(接地等)を行なう。静電服、静電靴等を着用するなどして、人体帯電を防止すること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。

容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な取り扱いはしないこと

局所排気・全体換気

第８章記載の換気装置を使用すること。

注意事項

特になし

安全取扱い注意事項

特になし

保管

保管条件

着火源から離して保管すること。-禁煙

日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

容器は密閉しておくこと。

２５℃以下の温度で保管すること。

安全な容器包装材料

密閉性の容器に保管すること。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策

取扱い場所の近くに、眼の洗浄および身体洗浄のための設備を設置すること。

密閉された装置・機器、または局所排気装置を使用すること。

管理濃度及び許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会(2009 年)	ACGIH(2009 年)
	許容濃度	TLV-TWA
リチウムビス（フルオロスルホニル）イミド	第３種粉塵として （その他の無機および有機粉塵） 総粉塵　　：8mg/m^3 吸入性粉塵：2mg/m^3	その他の粉塵として 総粉塵　　：10mg/m^3 吸入性粉塵： 3mg/m^3

保護具

呼吸器の保護具：防じんマスク

手の保護具：保護手袋（静電気対策品が望ましい。）

ゴムまたはポリエチレン製手袋

眼の保護具：保護眼鏡、ゴーグル、防災面

皮膚及び身体の保護具：保護衣、保護靴（静電気対策品が望ましい。）

９．物理的及び化学的性質

物理的状態：固体(粉末)

形状：粉末

色：白

臭い：データなし

臭いの閾値：データなし
ｐＨ：データなし
融点・凝固点：１４０℃
沸点、初留点及び沸騰範囲：なし
引火点：高引火性ではない
自然発火温度：なし
燃焼性：データなし
燃焼の範囲又は爆発範囲：爆発性なし
酸化性：なし
蒸気圧：なし
蒸気密度：データなし
蒸発速度：データなし
比重(相対密度)：２．３２ｇ／ｃｍ^3（20℃）
溶解度：水：可溶　25.1(% w/w)(20℃)
　　メタノール：可溶
ｎ-オクタノール／水分配係数：データなし
分解温度：データなし

１０．安定性及び反応性

安定性：吸湿性がある。
　　通常の取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性：通常の取扱いにおいては安定である。
避けるべき条件：高温、多湿、直射日光
混触危険物質：酸、還元剤、酸化剤、塩基、強酸
危険有害な分解生成物：燃焼ｶﾞｽには、有害なNOx、SOx、ﾌｯ化水素ｶﾞｽが含まれる可能性がある。

１１．有害性情報

急性毒性(経口)：LD_{50}: 50～300 mg/kg[ラット]
急性毒性(経皮)：LD_{50}:＞ 2500 mg/kg[ラット]
急性毒性(吸入)：データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：腐食性あり［ウサギ］
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：データなし
呼吸器感作性：データなし
皮膚感作性：データなし
生殖細胞変異原生：AMES 試験:陰性
　　染色体異常試験:陰性
　　小核試験:陰性
発がん性：データなし
生殖毒性：NOAEL 72.07mg/kg/day[Female rat]

NOAEL 69.21mg/kg/day[Male rat]
リチウムは"Chemically Induced Birth Defects"(Birth Defects 3rd.(2000)) で催奇形性物質としてあげられており、"Catalog of Teratogenic Agents"(Teratogenic 12th(2007))でもリチウム服用の妊婦において心臓奇形の出産報告が複数あり、ヒトに対する催奇形性が示唆されていることから、区分１とした。

特定標的臓器毒性(単回暴露)：データなし

特定標的臓器毒性(反復暴露)：NOEL:≧ 30 mg/kg[ラット(♂)]
NOEL:≧ 100 mg/kg[ラット(♀)]

吸引性呼吸器有害性：データなし

１２．環境影響情報

生態毒性

急性有害性（魚類）：LC_{50}(96ｈｒ)：＞　100 mg/L[ヒメダカ]
LC_{50}(96ｈｒ)：＞　100 mg/L[ゼブラフィッシュ]

急性有害性（甲殻類）：EC_{50}(48ｈｒ)：　71 mg/L[オオミジンコ]

急性 有害 性（藻類等）：ErC_{50}(0-72ｈｒ)：＞ 100 ｍｇ /L[単 細胞緑 藻 類]

長期間有害性（魚類）：NOEC(14day)：＞ 101 mg/L[ゼブラフィッシュ]

長期間有害性（甲殻類）：NOEC(繁殖量による理論濃度(21day))：＞ 7.06 mg/L[ミジンコ]
NOEC(親動物の死亡率による理論濃度(21day))：＞ 7.06mg/L[ミジンコ]
NOEC(ミジンコ本体の長さによる理論濃度(21day))：＞ 7.06

長期間有害性（藻類等）：NOEC(最大無影響濃度)：　50 mg/L[単細胞緑藻類]

残留性・分解性：難分解性
ｐH4.0,7.0及び9.0（50℃）において加水分解せず、安定している。[ｐHの関数としての加水分解試験]
LogKoc ：0.52(GSS-2)、0.82(GSS-3)、1.04(GSS-4)
[SEPA106(china)吸着／脱着スクリーニング試験]
EC50 ＞1000mg/L[OECD209　3 時間(活性汚泥呼吸阻害試験)]

土壌中の移動性：データなし

生体蓄積性：低濃縮性

１３．廃棄上の注意

廃棄方法：廃棄物、廃水を処理する場合は焼却処理するか、一定容器に取りまとめ、産業廃棄物処理業許可証を持つ処理業者に委託し、処理すること。
使用済みの容器は、他の物質を混入させたり、他の用途に使用せず、内容物を上記に従って処理した後、廃棄処分する。容器をリサイクルする場合、容器は内部に何も入れず、栓をしてそのまま返却すること。

１４．輸送上の注意

ＩＭＤＧ分類　国連分類：クラス８（６．１）
国連番号：２９２３
品名(国連輸送品名)：その他の腐食性物質(固体)(毒性のもの)
容器等級：Ⅱ

海洋汚染物質：非該当

特別な安全対策：１５章　適用法令に従い、輸送すること。
容器は落下、転倒、破損しないように積載すること。
直射日光を防ぐために積載物に覆いをかけること。

緊急時応急措置指針番号：１５４

１５．適用法令

消防法：　非該当

毒劇法：　非該当

安衛法：　名称等を通知すべき危険物及び有害物：４８７

化審法：　登録済み

PRTR 法（化管法）：　非該当

労働基準法：　疾病化学物質

水質汚濁防止法：　有害物質

下水道法：　水質基準物質

水道法　水質基準物質

船舶安全法：　腐食性物質

航空法：　腐食性物質

港則法：　腐食性物質

１６．その他の情報

注意事項：・記載内容は、本シート作成時に入手できた資料、情報、データ等に基づいておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関して保証するものではありません。また、注意事項は、通常の取扱いを対象としており、特殊な取扱いの場合には、使用者の責任において、個々の取り扱いの実態に応じた適切な処置を講ずる必要があります。十分にご注意ください。

・第２章に記載した健康有害性、環境有害性に関する　GHS 分類は「GHS に基づく化学物質の分類方法　JIS Z7252:2009」に基づいています。また、物理化学的危険性に関する GHS 分類は、「化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)改訂 3 版」に基づいています。

・記載していない危険有害性は、「分類対象外」又は「分類できない」に該当します。